

大鹿スケッチ

— 第40号 —
2014年 02月
〈 発行者 〉
前志満 くみ
〈 提供 〉
旅舎 右馬允

二月の下旬にスノーシューを履いていつものように山をうろろしました。ダンコウバイの蕾がいまかいまか、もう咲きそうです。周りはひざ丈以上ある雪ですが春一番はスタンバイON! 「光」の季節はもう来ています。蝶の幼虫がちらほら見られます。ムラサキケマンを食べているのはウスバシロチョウ。スマレを食べているのはクモガタヒョウモンですって! 自然の絶対的なエネルギーを感じながらちよつとくらからする自分がいます。



寒さの味覚 堪能の右馬允のお料理



大根とイノシシと地豆の炊き合わせ



小渋ダムの公魚の一夜干し



オシムギのミルク粥と鴨のロースト

大鹿村の根菜とそばの実餡かけ



バテド大鹿、鹿のリエット早春プレート



今年の冬は村の会議にいろいろ呼ばれます。「ブランド協議会」なるものが立ちあがっており暮らし部門での呼び出しがあったので出席してきました。二回目の初参加ということでおとなしく聞いていますが、どうも村の暮らしに開いていくことを掘り起こして村内外の人と人との交流のツールにしていこうというものでした。どこでもおこなっている様な内容です。大鹿村では今のところ民話と伝統食とウォーキングを組み合わせたツアーを来年度に向けて実現させる予定です。私が幼かったころ保育園の園長を務めていた伊東さんという方が部長で話し合いの進行の大きな役割を果たしておられました。おいづくなのではないか? 人生は長く、時に短い。村の女性はいつまでも強く、そして暖かい。目指すべき女性像がそこにあります。ちよつとへそを曲げた村の男衆をまとめていくのは実は女性のチカラなのでしょいか?!

大鹿 HeatBeat

～大鹿の人々～ 第38回

紙谷 正 さん (87)

季節ごとの長野県の社会福祉協議会主催

風景と共に大第六回「まめつたいサミット」鹿人の生活を、大鹿村で開催されます。

ご紹介しま 三月二日(三)四日の、充実オオた日々の中に、歌舞伎教室発表会あ熱く響く「鼓り、四部門に分かれた村の探索会なども「どうせりニアが通るのにこんなことを感じています。参加ご希望の方はこちらにご連絡ください。電話 〇二六・二二六・一八八二

紙谷さんの所に来年度の苗床を育てるための肥料が届きました。今年ハウスのピーニールも新調するのうです。「どういうことにかわかんないけど今年も頑張りまいか」ということで頑張ることになり。今年、米寿を迎えようというところへ迎える準備ができています。体は元気に見えます。体の状態を聞くと、痛を語る(四部門中)の「ト」を勧めさせていただきます。か、生きる上で大切な事項です。「これだ!」と思つて決めては、少し気持ちを内側に向けて、これまでの事、現在の事、そして将来の事をぼんやり想う時間です。参加者の皆さんのお互いの「今」を共有しながら、ムラで暮らすことについて思いを深めてみましょう。どんなことでもご参加可能です。

村の行事や会議などいたるところでリニア計画の暗雲が立ち込めています。来年度に向けて画期的な新しい取り組みを政主体で立ちあげ、会議をおこなっていますが役員に選出された住民の気持ちの底にはどうも「どうせりニアが通るのにこんなことを感じています。参加ご希望の方はこちらにご連絡ください。電話 〇二六・二二六・一八八二

猫のコティナが遊んでしましました。大雪が降る前日、二月一三日の事でした。車にはねられるような猫ではなかったのですが、分らない痛々しく道に流された血のりは翌朝から降り積もった雪が洗ってくれました。今日も一緒に寝るはずだった一番の友達もういないのです。コティナが次の瞬間吸うはずだった空気を吸い続けているのだなと感じながら春に向けての日々を過ごしています。季節柄なのか大好きから他の所についてしまうことが多放しながら春からの生活はもう少しシンプルになりそうです。